

ひこはえ

第56号

発行日 平成27年8月15日

発行 公益社団法人

遠野市シルバー人材センター

広報編集委員会

遠野市青笹町棟前9-7-6

電話0198-62-0577

平成二十七年年度

定時総会開催

日時 五月二十六日(火) 十時
会場 JAとおのライフサービス生活センター

今年度は、JAとおのライフサービス生活センターに於いて、定時に開催されました。天候に恵まれ、会員数二五〇名中、本人出席一一〇名(委任状一三五名、議決権行使四名)の参加でした。会は、次第に添って進められ、佐々木明敏理事長の挨拶に続いて、十年以上会員としてご活躍の方々に対し、表彰が行なわれ、十四名の受賞者を代表し、十八班の河野清さんが登壇。表彰状と記念品が授与されました。会場は、受賞の方々をお祝いし、大きな温かい拍手で一杯になりました。続いて、ご来賓の遠野市長、遠野市議会議長、岩手県議会議員、釜石公共職業安定所遠野出張所長より温かいご祝辞を頂戴しました。

◆お祝いのことばから◆

日頃より会員の方々の豊富な知識と経験、技能を生かし、地域福祉行政にご支援、ご協力に感謝と、地域と共に生きるネットワークづくりに、そして、まちづくりの更なる発展の為にご尽力をお願いしますとの激励の言葉を頂いた。又、十五年間継続しての就業率百%達成の努力に敬意が表された。今後共、会員の方々の能力を生かし、地域活性化の為に益々のご活躍を期待しますとのお話しがあり、引き続きの、行政として支援する旨が伝えられました。

さらに、健康福祉課長、市老人クラブ連合会長が紹介され、感謝の拍手が贈られた。続いて、議事に入り、議長に土淵十四班阿部三和男さんが選任され、議事はスムーズに進行し、全て満場の拍手で、原案通り承認されて、総会は無事に終了となりました。



◆理事長挨拶から◆

会員は平成二十六年年度末、二四二名、平成十四年度末、四三三名をピークに減少傾向に有り、シルバー人材センターを取り巻く環境は、依然厳しいものがありますが、ワークシェアリングを図りながら頑張つて参りたい。今年度は、傷害事故0件、賠償責任事故0件と、悲願の「事故ゼロ」が達成出来ました。地域にも、お客様にも喜ばれるシルバー人材センターとして、自主、自立、共働、共助の基本に立ち返り、頑張つて参りたい。長年ご活躍の十四名の受賞の方々の努力に対し、敬意と感謝を申し述べ、心よりお喜び申し上げます。更なるシルバー人材センター事業の発展の為に、会員の方々のご協力をお願いし、又、役職員一丸となつて

取り組んで参りますのでよろしくお願ひします。との挨拶がありました。

紙面の都合上ほんの一部の紹介となりましたことをご了承ください。



★ビンゴゲーム

今年初めての取り組みでしたが、第二回理事会開催中の合間の待ち時間を利用して、お楽しみビンゴゲームが行われました。沢山の商品が並べられ、中身は開けてみてのお楽しみということが進められ、会は大変盛り上がりました。当たった方に、何が入っていたのか後で聞いてみて下さい。今回残念ながら当たらない方もお楽しみ！



●表彰者紹介● 正会員表彰者

代表受賞	二十班	十九班	十八班	十八班	十五班	十四班	十四班	十一班	十班	十班	十一班	一班
河野	梶原	多田	菊池	河野	大洞	今淵	菊池	瀬川	一ノ渡	山口	藤原	菊池
(敬称略)	儀	七利	幸清	和子	豊子	五十子	信子	寿男	清孝	トモ	寛明	洋子



報告事項

第一号報告 平成二十六年年度補正予算について

第二号報告 平成二十七年年度事業計画について

第三号報告 平成二十七年年度収支予算について

第四号報告 平成二十七年年度資金調達及び設備投資の見込みについて

議題

第一号議案 平成二十六年年度事業報告について

第二号議案 平成二十六年年度収支決算について

第三号議案 理事の選任について

第四号議案 監事の選任について

◎全議案、原案通り可決



平成二十七年年度事業計画

▼基本方針▲

公的年金の支給開始年齢は引き上げられ、九割以上の企業が高齢者の雇用確保措置の導入を実施していると言います。このような背景にあつて、シルバー人材センター事業は、従来からの「受託事業」と「一般労働者派遣事業」、「有料職業紹介事業」を実施しながら、多様化する発注者ニーズや、正会員の働き方ニーズに対応するべく、体制準備に取り組みで参ります。

また、「自主、自立、共働、共助」を基本理念に掲げ、自らの福祉の実現と地域社会経済の活力維持の為、高齢者の方々の経験、知識、技術、技能をセンター事業に参画頂けるよう維持すると共に、さらに広く市民の期待に応えられるような組織体であるシルバー人材センターを構築して参ります。

第一 事業方針

○受託事業目標

会員数 二九〇名

受注件数 二、〇五〇件

就業延人員 一六、五〇〇人日

配分金総額 五七、五〇〇千円

就業率 一〇〇%

○一般労働者派遣事業目標

受注件数 二〇件

就業延人員 二、〇〇一人日

賃金総額 一一、五〇〇千円

○有料職業紹介事業目標

受注件数 五件

就業延人員 一一〇人日

賃金総額 一、二〇〇千円

第二 事業計画

一、雇用によらない就業機会の提供

- (1) 受託事業では、高齢者の生きがいと活力ある地域社会づくりのため、家庭等の軽易な修繕や一般作業、軽度生活援助事業等、地域に密着した就業機会の提供を行う。
- (2) 独自事業では、農作物や手芸品等の出店、門松製作、きのこ栽培（なめこ等）を行う。

二、雇用による就業機会の提供

- (1) 有料職業紹介事業では、一般高齢者及び会員を対象に有料の職業紹介を行う。
- (2) 一般労働者派遣事業では、会員を対象に、一般労働者派遣による就業機会の提供を行う。

三、就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

- (1) 換張り講習、パソコン講習、健康教室を行う。

第三 事業推進のための活動

(1) 普及啓発事業

シルバー人材センター幟旗掲出、ホームページ、マスメディアへの情報提供、各イベントへの参加、会報の発行を行う。

(2) 安全、適正就業の推進

安全衛生管理委員会、安全大会、交通安全教室、安全パトロールを行い、事故ゼロを目指す。

(3) 調査研究

会員の就業に関する意識調査、会員の六月、一年経過者研修、市民を対象としたアンケート調査を実施する。

(4) 就業分野の開拓、拡大

リーフレット利用の説明、就業中のセンターの幟旗の掲出、センター名入りマグネットを会員車両に貼付を行う。

(5) 相談、情報提供

入会希望者説明会、ふるさと就職ガイダンス等への参加、シルバー事業説明会を行い相談及び情報提供を実施する。

(6) 社会参加活動の推進

ボランティアや社会参加等を通して、活動の機会を提供する事を目的に、たかむろ水光園、鍋倉公園、各地域清掃作業を今年も実施する。

(7) その他、遠野市を始め、関係機関との連携を推進し、適正な事業運営に努める事、などが承認されました。

● 役員改選 ●

今年、役員改選があり、別会場で第二回理事会が開催され、理事長、副理事長が、各々満場一致で再任されました。

又、総務委員会及び各専門委員会委員も4ページ記載のとおり選任され閉会となりました。

新役員紹介

監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副理事長	理事長
(新任)	(再任)	(新任)	(新任)	(新任)	(再任)	(再任)	(再任)	(再任)	(再任)	(再任)	(再任)
高山	山口	山蔭	古川	菊池	菊池	木下	菊池	菊池	藤田	留場	佐々木
清孝	和子	憲子	民憲	由彌	隆明	善悦	睦攻	睦子	睦一	睦一	睦一
(二班)	(十一班)	(二十班)	(遠野市)	(十六班)	(九班)	(四班)	(十八班)	(十八班)	(十二班)	(十一班)	(十四班)



総務委員会

委員長 留場 栄一 副理事長
 副委員長 藤田 一男
 (独自事業推進委員会委員長)
 委員 菊池 睦子
 (広報編集委員会委員長)
 委員 菊池 攻
 (安全衛生管理委員会委員長)
 委員 古川 憲
 (遠野市)

広報編集委員会

委員長 菊池 睦子 理事
 副委員長 菊池 民彌 理事
 委員 木下 隆 理事
 委員 菊池 秀昌 (六班)
 委員 高橋 文男 (五班)

安全衛生管理委員会

委員長 菊池 攻 理事
 副委員長 菊池 由明 理事
 委員 中村 長重 (三班)
 委員 村上 ヤ工 (六班)
 委員 沼里 康平 (十三班)
 委員 菊池 祐也 (十班)

独自事業推進委員会

委員長 藤田 一男 理事
 副委員長 菊池 善悦 理事
 委員 山蔭 和子 理事
 委員 一ノ渡 寿男 (十四班)
 委員 山崎 和子 (十六班)
 委員 河野 清 (十八班)

依然事業運営は厳しい状況が続き、高齢化による会員数の減少など、課題が山積みしておりますが、そんな中、理事長、副理事長共に再任となりました。力強い事と思えます。そして又、「役職員一丸となって取り組んで参りますので宜しく願います。」との理事長の力強い挨拶が印象に残りました。課題解決に向け、今年度もなお一層、会員と共に一致協力し、「邁進するのみ」と感じる総会となりました。
 (取材 菊池 睦子)



独自事業推進委員会の紹介

実験事業として取り組み始め、冬場の就業機会に繋がるよう、独自事業推進委員長(藤田理事)のご指導の下、汗をかきながら奮闘しております。さて、何をやってるかというのと、割竹を炭にしております!



門松の竹を再利用
 してごめいすよ

◆安全就業推進大会◆

総会終了後、引き続き安全就業推進大会が開催された。菊池攻委員長率いる委員四名全員が登壇し、行われた。委員長の「無事故に勝る宝なし」との挨拶後、「安全就業宣言」を、会員全員で声高らかに宣言し、終了しました。今年も、「事故ゼロ」を目標に掲げ、お互いに安全就業に徹底したいものと、感じた大会でした。



平成二十七年度 交通安全教室を開催

去る七月一日、毎年、全国のシルバー人材センターの中で、非常に多いのが、就業先と自宅間の途上事故である事から、今年も「交通安全教室」を開催。会員五十一人が参加し、高齢者の交通事故防止についてのユーモア溢れる講話に会場は笑いと拍手の渦に包まれました。また、シミュレーターを使つての適正検査も行われ、改めて安全確認の大事さを学んだ一日となりました。

一時半の開会では佐々木明敏理事長から「シルバー設立から二十六年。安全にここまで就業して頂き皆様のご尽力に感謝する。」との挨拶があ



り、また菊池攻安全衛生管理委員長からは「高齢者事故の多発する中、歩行者の安全を重点とする」旨のお話がありました。

講師紹介は菊地和弘事務局長。岩手県警交通企画課高齢者安全対策係長・千葉敬道氏が講師で、千葉講師は、一人担当で岩手県内すべては回れないが、出来る限り小さな集会にも出席したいと話していました。

講師は高齢者の事故防止が中心。とくにも道路横断中の事故が多く、安全を確認するまでは確実に止まって、左右を二度ずつ見て、待つ。単純だが、この行為の励行に努めてほしいとのお話。さらに反射材の着用、運

転に際しては、夕方の早目点灯、冬タイヤの適時交換（スタッドレスは三年が目安）にも配慮し、その経験を若者にも伝えてもらいたいとのこと。事故の無い明るい地域づくりには不断の努力が必要と痛感しました。

講話の後は通称「わたり上手君」というシミュレーターの適正検査。横断歩道の昼と夜の状況が映し出され、左右の車の流れを確認しながらの横断。壇上の被検者の方も、意外に早い車の接近に戸惑っていました。

アツという間の一時間半。安全の確保には「待つ」と「確認」することが大切と教わりました。

（取材 木下 隆）



おじゃまします

今回は庭木剪定班の梶原儀治さんと菊池喜悦さんのグループにおじゃまして作業の内容を取材しました。

このグループは6名で構成され、リーダーの梶原さんを中心に、庭木の剪定、ペンキ塗り、害虫駆除等多岐に亘り、精力的に就業されているようです。

まず、就業現場を確認し、顧客からご要望を聞き見積書を提示、顧客が納得すれば相互押印後、事務局に提出して請負契約が成立する流れのようです。

今日は、炎天下の中、汗ビッシヨリで早瀬町の現場で屋根のペンキ塗り作業と庭木の剪定作業を2名で作業しておりました。

「作業は安全作業第一に取組み、なれた手つきで黙々と手を動かし、顧客の要望に応じて行きたいと意気込んでおり、今後も宜しくお願い申し上げます」と抱負を述べられました。また「シルバー人材センター会員」として体験談を多くの方々に伝え、会員増加や仕事の獲得の一助になればとも話しておりました。



写真 左:菊池 喜悦さん 右:梶原儀治さん

(取材 高橋 文男)

例年より一週間以上早い桜の開花と好天に恵まれた四月二十二日、恒例の水光園ボランティア活動を実施。佐々木理事長以下四十七人の会員が汗を流しながらの作業に従事しました。

午前八時四〇分の開式では理事長より「清掃ボランティアを今年度はゴールデンウィーク前としたこと。今年度は悲願の就業事故ゼロを達成したこと、引き続き努力すること」が話されました。

作業は庭園内の植物剪定、落葉や枝拾い、それらの片付けや穴埋めで、ベテランあり初心者ありの編成ながら和気あいあいに進められ、予定の正午には完了。周辺の自然とみごとにとけ込んだ和風庭園を見渡すと思わず背伸びをしたくなるようで、また、新緑のにおいを運ぶ風の清々しさに心洗われる思いがしました。

たかむろ水光園は昭和五十六年に完成。上水道浄水管理センターを核に、当時オイルショックで社会問題化していた省エネ対策に太陽光発電など全国に先駆けて取り組み、さらに保養も出来る民家園等も複合するなど特色のある施設として知られています。また、チップボイラー(林野庁主管)も整備作業中で省エネ対策も一層進化。市民からは遠野の奥座敷として親しまれています。

金田一支配人は「(清掃で)自信をもってお客様を迎えられる。昨年は、やっと震災前の利用者を超えた。今年度は市民向けのイベントを増やすなど努力をしたい。さらに沿岸部との友好も深めたい」と抱負。

昼食には遠野名物ジンギスカンをご馳走になり、参加者一同シルバーのボランティア活動が少しでも内外のお客様の笑顔の一助になればと願ったひとときでした。

(取材 木下 隆)



遠野奥座敷 たかむろ水光園ボランティア

会員の声

4班（遠野9・10・11区） 森川 亦

既にシルバー人材センターに加入されている方々は冬季には高齢者宅の除雪、春から秋にかけては除草・刈払いなど様々な分野で培われてきた技術を駆使して地域に根差した活動をされています。私も近年印刷に係ることがありシルバー人材センターを見聞しておりましたが、今回加入しました。早速炎天の除草に参加し異業種の方、年齢差もありましたが励まされ会話も楽しく作業をすることができました。また、依頼人として倒木の撤去作業の立会をしました。その際、派遣された皆様方は挨拶、就業時の時間厳守、安全作業のもと互いに気配り声掛け作業を行っておりました。無事終了し帰宅時の笑顔が印象的でした。



平成二十七年一月から平成二十七年八月までに入会された方々です。よろしく願います。

新人会員紹介

十九班	七班	十一班	十五班	二十班	五班	一班	十五班	十五班	一班	十三班	九班	四班	十八班	六班	九班	十九班
千葉	佐々木	石田	菊池	浅利	小鎚	菊池	菊池	菊池	吉田	阿久津	藤田	森川	菊池	宮田	阿部	稲月
ちえ子	陽一	綾子	武見	博忠	マサ	常夫	すゑ子	力男	ロク	トキ子	優一	亦	省治	義美	伸明	和子
①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事	①第一に希望する仕事
②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事	②第二に希望する仕事



(敬称略)

今後の予定

10月10日～11日
遠野市産業まつり出店
10月下旬
ボランティア活動
11月下旬
除雪機出発式

ご紹介いたします！

全国シルバー人材センター事業協会で「ゆるキャラ」の募集をしたところ、厳正な審査の結果、最優秀作品に「チエブクロー」が選定され、シルバー人材センターの「ゆるキャラ」として決定しました。

シルバー人材センター「ゆるキャラ」



「チエブクロー」

お知らせ

○「シルバー産直コーナー」及び産業まつり等で販売する商品を随時募集しております。皆さんが作った野菜（日持ちする物）・豆類・手作り品等ひとつでも構いませんので、出品できる方は事務局までご連絡願います。
○「適正な就業」のため継続就業現場での就業希望者を募集中です。1件の就業につき、1人が働くことのできる日数はひと月10日以内です。やってみようかな、など気になる就業現場がありましたら、遠慮せずに事務局までお問い合わせ下さい。
○「もっと仕事をしたい」という会員の皆さんどしどし事務局に声を掛けて下さい。就業希望会員が足りないことから、規模が縮小されたり、やむを得ずお断りすることもあります。折角頂いた仕事で「共働・共助」しましょう。

「知恵袋」と「ふくろう」を合わせたキャラクターです。宜しくお願いします！

会員募集

皆さんのご近所に「この人なら会員にふさわしい」と思われる方はいませんか？毎月二十五日（土・日・祝日は翌日）の午後一時三十分から入会希望者のための説明会を行っております。（入会するためには必ず説明会を受講して頂きます。）
「シルバー人材センターはどのようなところなの？」「どんな仕事があるの？」といった質問などお気軽にお尋ねください。

〈 編集後記 〉

平成二十七年年度の定時総会は、去る五月二十六日、JA生活センターで開催されました。すべての議案が、会員のご理解のもと原案通り可決されました。これで、遠野市シルバー人材センターの事業が展開されることになりました。

広報編集委員会も、理事の改選等により、委員の顔ぶれにも変化が生じたところでありますが、早速、菊池睦子委員長のもとに、去る六月十日、第一回目の広報編集委員会が開催されました。広報紙のタイトルについては、今まで通り「ひこばえ」（草木の切り株から生じた芽の意味）とすることを確認し合いました。紙面については、できるだけ会員が読んで理解しやすい広報となるように、工夫をこらして取り組むこととしました。会員の皆様からご意見をお寄せいただきたいと思います。広報編集委員会では、必ずや会員の皆様の期待にこたえるよう頑張つて参ります。

今年の夏は、異常に猛暑が続いております。会員の皆様におかれましては、十分な水分の補給などし、熱中症にかかることのない態勢でお仕事に頑張つて欲しいものです。

広報編集副委員長 菊池 民彌

